



信頼・団結・前進

=新たな時代にさらなる挑戦=

くまもと

発行 九州旅客鉄道労働組合
熊本地方本部
熊本市中央区南熊本3丁目14番1号
電話 NTT 096-373-8911
JR 094-2345
発行責任者 濱田 享二
編集責任者 瀬戸口 貴史
教育広報部

2019 年度年末手当交渉が妥結

2.51 ヵ月分を12月10日以降支払い

激布・激励行動で交渉後押し

11月22日、2019年度年末手当交渉が「2.51ヵ月分を12月10日以降支払う」との会社回答を受けて妥結しました。

本部は相次ぐ自然災害にも関わらず、中間決算で過去最高の営業収益を計上したことを強く主張し、組合員の懸命な努力に報いる回答を求めてきたところでした。

しかし、会社は税制特例の廃止や減価償却費の増を理由に厳しい考えに終始し、交渉は難航しましたが、会社から「2.51

ヵ月、12月10日以降支払い」の回答を引き出しました。本部は、年間支給月数で前年を上回ったこと、組合員の生活設計等を考慮して、妥結の判断を下しています。

なお、熊本地本は今回の交渉に際して、各分会で激布を作成し、ヤマ場での本部激励行動を展開しました。皆さんのご協力に感謝致します。



中原本部執行委員長（中央）に激布を手渡し、激励する一行

国交省 鉄道用地外からの災害対応を議論

現在、国土交通省は「鉄道用地外からの災害対応検討会」を立ち上げ、これまで3回の会議を開催しました。検討会では用地外からの災害に対する事前防災や早期復旧のための対応策等についての議論を行っています。

近年の激甚化する豪雨等で用地外の隣接する斜面からの土砂流入などが頻発しています。このような用地に有効な防災対策を講じることができない等の課題があります。

熊本地本のエリアでは2016年4月の熊本地

平和・自由・民主主義の実現を 第56回護憲大会に地本からも参加



11月9～11日に第56回護憲大会が北海道函館市であり、熊本地本から桃北勝美副委員長と吉田祥司書記長の2人が参加しました。安倍政権による改憲への危機が高まる中、日本国憲法の理念である平和・自由・民主主義の実現と併せて、改憲阻止の取り組みを粘り強く継続していくことを全体で確認しました。

分会新役員（三役）紹介

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 吉田 淳一 |
| 副委員長 | 竹下 徹 |
| 副委員長 | 山下 ひかり |
| 書記長 | 増元 享裕 |

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 原 孝祐 |
| 副委員長 | 石田 龍夫 |
| 副委員長 | 荒木 裕輝 |
| 副委員長 | 島山 和輝 |
| 副委員長 | 阿南 誠一 |
| 書記長 | 新屋 敷元気 |

熊本工務連合分会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮島 佳男 |
| 副委員長 | 岡村 雅夫 |
| 書記長 | 内村 和平 |

よろしくお願ひします！